

日本食肉加工情報

毎月1回発行

4

2026 APR.

No.910

CONTENTS

●特集

令和7年食肉加工品の動向

●窓

第123回 伊藤ハム米久フーズ株式会社
代表取締役社長 田代 幸弘
「ものづくりへの情熱と歩んできた道」

●業界をめぐる動き

- ・「第47回食品産業優良企業等表彰式」の開催について
- ・3月役員会の開催報告
- ・令和7年度初級食肉加工技術講習会の実施報告
- ・令和7年度後期技能検定ハム・ソーセージ・ベーコン製造試験について
- ・令和7年度後期技能検定実技試験を終えて
- ・農林水産省 人事異動
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #124

●ひろば

第118回 Umios Hokkaido株式会社

●海外情報

カナダ 25年の豚と畜頭数、処理能力の向上などにより前年比2.5%増



内容をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

令和7年食肉加工品の動向

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合

令和7年食肉加工品に関する年間統計資料がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 生産量 (P3:表1)

令和7年の食肉加工品の合計生産量は、489,278.8トン(対前年比96.8%)となり前年に比べて減少(-16,010.5トン)しました。その内訳は、ハム類 91,035.1トン(同94.4%)、ベーコン類 81,593.2トン(同92.3%)、ソーセージ 296,113.8トン(同98.5%)、プレスハム 20,536.7トン(同102.9%)となりました。

2. 仕向肉量 (P4:表2)

令和7年の製品製造のための原料肉の仕向肉量は、413,854.2トン(対前年比99.0%)と減少しました。その内訳は、豚肉が344,470.6トン(同99.0%)、鶏肉が55,700.5トン(同101.2%)となっています。豚肉のうち国内物はおおよそ2割弱を占めており、対前年比は102.8%と昨年から増加しています。一方、豚肉調製品に属するシーズンドポークは、108,343.6トン(同96.8%)と減少しており、仕向食肉を含めた全体に占める割合は26.2%(前年26.7%)となりました。

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL: 03-3444-1211 FAX: 03-3441-8287 E-mail: ask@hamukumi.or.jp